

岩手県立大学 2019年度 新入生アンケート

集計結果報告書（抜粋）

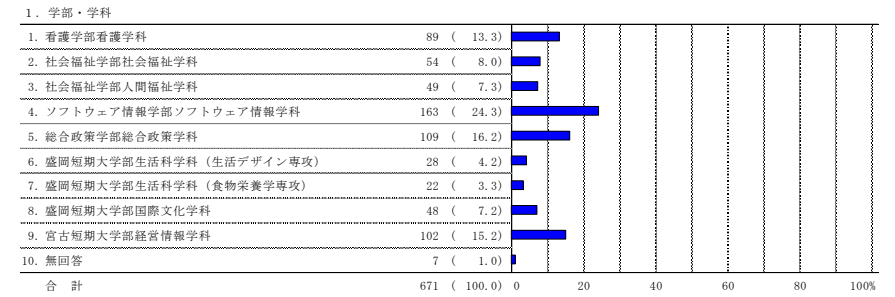
2019年6月

1. 調査の概要	1
2. 調査結果の要約	2

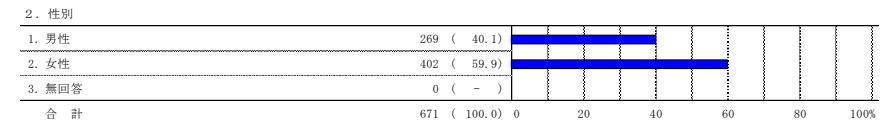
1. 調査の概要

- ① 実施時期・方法:2019年4月新入生オリエンテーションにて配布・回収
- ② 対象:岩手県立大学新入学者 701名
- ③ 回答・回収状況:671票(回収率:95.7%)
- ④ 回答者内訳

○1. 学部・学科



○2. 性別



2. 調査結果の要約

問 1 第一志望の大学

全体では「第一志望だった」68.7%、「第二志望だった」17.7%、「第三志望以下だった」13.1%となっている。

本学が「第二志望だった」、「第三志望以下だった」と回答した新生が記載した「他に受験した大学」は、記載件数の多い順に「岩手県立大学」(34 件)、「岩手大学」(29 件)、「山形大学」(17 件)、「青森公立大学」「秋田大学」「弘前大学」(10 件)、「秋田県立大学」「東北学院大学」(9 件)となっている。

問 2 本学の入試に関する情報の入手方法

本学の入試に関する情報の入手方法上位 3 項目は、「入学案内(冊子)を読んだ」65.3%、次いで「高校の先生からアドバイスを受けた」47.8%、「本学のホームページを見た」46.2%となっている。

問 2-2 本学のホームページの閲覧状況と満足度

本学のホームページを閲覧したことのある新生の割合は 90.2%となっている。また、新生の 85.1%が、大学について「大変良く理解できた」(18.9%)、「概ね理解できた」(66.2%)と回答している。

問 2-3 本学の入学案内(冊子)の閲覧状況と満足度

受験にあたり、本学の入学案内(冊子)を見た新生の割合は 95.2%となっている。また、新生の 91.5%が、大学について「大変よく理解できた」29.2%、「概ね理解できた」62.3%と回答している。

問 2-4 参加した行事と本学受験との関連

本学で実施している行事と本学受験への影響度について、「2. 受験決定の大きな要因」と「3. 受験決定の要因の一つ」を合算した割合でみると、「4. オープンキャンパス」35.5%が最も影響度が高く、次いで「1. 大学見学」25.5%、「2. 大学説明会」19.5%、「大学祭」14.6%となっている。

問 3 本学の受験決定時期

本学の受験を決めたのは、全体としては入試直前といえる「センター試験の後」31.7%が最も高くなっている。次いで「高校 2 年」「高校 3 年の夏」14.0%が高くなっている。

問 4 入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)と受験決定の関係

「ホームページや入学者選抜要項等で公表している入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)は、受験決定の参考になりましたか」という設問について、「受験決定の大きな要因となった」「受験決定の要因の一つとなった」と回答した割合は、全体としては 66.2%となっている。

問 5 大学進学を考えた理由

新生が大学進学を考えた理由の上位は、「専門的知識や技術を修得したいから」54.8%が最も高く、次いで「教養を広げたいから」28.8%、「資格を取得したいから」28.6%となっている。

問 6 本学に関する情報に触れた機会(複数回答)

新生が本学に関する情報に触れた機会について、「本学のホームページ」が最も高く83.8%、次いで「本学の入学案内」77.6%、「通っていた高校」36.8%、「本学主催のイベント」32.5%となっている。

問 7 本学を選んだ理由

進学や受験のときに、本学を選んで「大きな理由になった」という積極的な肯定回答だけみえていくと、「公立(県立)大学である」66.3%に次いで「学びたい分野がある」58.1%、「資格が取得できる」37.3%、「岩手で学びたい」35.6%、「推薦入試制度がある」25.6%、「高校や塾の先生の薦め」24.0%、「校舎、キャンパス等のイメージ」23.1%、「教育課程や授業構成内容」23.0%となっている。

問 7(2) 一般的な受験大学選択の理由

「校舎、キャンパス等のイメージ」「入学案内やホームページの内容」「岩手で学びたい」「高校や塾の先生の薦め」「推薦入試制度がある」などの項目において、「本学を選んだ理由」が一般的な理由と比較して順位が高くなっている。

問 8 入学した自身の選抜区分

新生の入学した選抜区分の状況について全体としては、一般入試が(前期)46.5%、(後期)8.5%で合わせて 55.0%、次いで推薦入試(震災特別推薦入試を含む)31.6%、AO入試 3.6%となっている。

問 9 筆記試験問題の解答時間の適切性

筆記試験問題の解答時間の適切性について、全体として「分量が多く解答時間が足りなかった」と回答したのは12.5%となっている。また、「分量よりも内容が難しく時間が足りなかった」と回答したのは 5.1%となっている。

問 10 面接での質問内容や実施方法の適切性

面接を受けた学生 347 人(無回答を除く)のうち、95.4%が「適切だと思った」と回答している。

問 11 試験のときの教職員の対応

試験のときの教職員の対応について、88.5%が「適切だと思った」と回答している。

問 13 現時点で考えている自分の将来

「現在、あなたは自分の将来についてどのように考えていますか」という設問について、全体としては「学びの専門性を活かせる就職」が 62.6%、「大学院への進学(または学部への編入学)」が 11.2%となっている。

問 14 就職を希望する場合の希望勤務地

就職を希望する場合の希望勤務地については、全体としては「県内」33.7%、「東北」26.7%となっており、地元志向が強いといえよう。

学部別にみると「ソフトウェア情報学部」の「関東」への割合が 39.9%と他学部と比較して突出して高くなっている。

問 15 本学と本学の学生に関するイメージ

新生が感じる本学のイメージについては、「地域社会・文化に貢献している」46.6%、次

いで「学部・学科が充実している」45.9%、「地域産業に貢献している」40.7%、「就職状況が良い」40.2%である。

また、新入生が感じる学生のイメージは、「コミュニケーション能力が高い」41.3%、次いで「個性的である」41.0%、「礼儀正しい」32.6%、「勉強、研究に熱心である」31.4%である。